

周産期・成長発達科学

担当講座	小児科学講座	問合せ先	小児科学講座
分野責任者	赤坂 真奈美 教授	連絡先	内線3701
担当教員	赤坂 真奈美 教授 石川 健 特任教授 齋木 宏文 准教授 外館 玄一朗 特任准教授 小山 理恵 特任教授 (産婦人科学講座)		
人材育成の 基本理念	ヒトの受精に関わるエピジェネティクスを含む生命科学と周産期、小児期の病態生理について体系的な教育を行い、小児科学・発達医学に基づいた適切な医療を提供できる人材を育成する。		
主な研究内容	<p>成長と発達の途上にある小児を対象として、その身体と心の問題を取り扱うので、その領域は極めて広く、胎児期、新生児期から思春期までのすべての医学領域の知識が求められる。そのため、妊娠、分娩、産褥の生理・病理はもとより、それに関連して胎児、新生児さらには思春期までの生理学的・内分泌学的知識をも習得する。</p> <p>下記の研究テーマについて、関連医学知識と研究方法を習得する。</p> <p>(1) ハイリスク妊娠・分娩に関する研究。 (2) 胎児の成長・発達評価に関する研究。 (3) 新生児の呼吸循環適応とその異常に関する研究。 (4) 肺サーファクタントの研究。 (5) 小児の成長と神経発達の研究。 (6) 小児の心理学的発達の評価に関する研究。</p>		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	(1) 妊娠や分娩、産褥の生理・病理を習得することで、母体から見た周産期・成長発達科学研究の導入基盤が形成される。 (2) 胎児、新生児から思春期までの小児における生理学的・内分泌学的知識を習得することで、小児の発育・疾患や母子健康を研究するための導入基盤が形成される。	1, 2, 3, 4, 6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論、周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究 I・II	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	特別研究 I・II	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	多職種連携チーム医療	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究 I・II	
	(6)胎児・新生児と両親、家族に配慮した全人的視点からの研究を実践できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(7)診療に関わる多職種や地域社会での自らの役割を理解して研究を実践できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(8)正常妊娠・分娩について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(9)ハイリスク妊娠・分娩の管理について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(10)正常胎児の成長・発達について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(11)異常胎児の評価・管理について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(12)新生児の生理について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
	(13)ハイリスク新生児の病態について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3	
(14)小児の成長・発達について説明できる。	周産期・成長発達科学 I-1～3、周産期・成長発達科学 II-1～3		
資格取得等			
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。 (問合せ先：小児科学講座・内線3701)。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1年	講義 周産期・成長発達科学 I-1	前期	30コマ	4	20単位	
		講義 周産期・成長発達科学 I-2	後期	30コマ	4		
		講義 周産期・成長発達科学 I-3	後期	15コマ	2		
	2年	講義 周産期・成長発達科学 II-1	前期	30コマ	4		
		講義 周産期・成長発達科学 II-2	後期	30コマ	4		
		講義 周産期・成長発達科学 II-3	前期	15コマ	2		
特別 研究	1年	特別研究 I (中間審査)	通年	15コマ	2	4単位	
	2年	特別研究 II (論文作成)	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

周産期・成長発達科学

コード	MM12161010				MM12161020				MM12161030				MM12161040			
科目	周産期・成長発達科学Ⅰ－１				周産期・成長発達科学Ⅰ－２				周産期・成長発達科学Ⅰ－３				周産期・成長発達科学Ⅱ－１			
科目責任者	赤坂真奈美				小山理恵				赤坂真奈美				赤坂真奈美			
担当者	赤坂真奈美、石川健、齋木宏文、外館玄一郎				小山理恵				赤坂真奈美、石川健、齋木宏文、外館玄一郎				赤坂真奈美、石川健、齋木宏文、外館玄一郎			
会場	小児科教室 小児科研究室				産婦人科研究室				小児科教室 小児科研究室				小児科教室 小児科研究室			
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	4
	回数	前期30コマ	配当年次	1	回数	後期30コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	前期30コマ	配当年次	2
主な授業内容	胎児・新生児の循環生理 新生児の呼吸循環適応と異常 新生児の呼吸循環疾患と管理				胎児の発育とその評価 産科手術の適応と実際 胎児診断の実際				ハイリスク児の病態と管理 ハイリスク児の発育とその評価 母子保健（ハイリスク児）				小児の発育とその評価 母子保健（周産期・新生児期） 母子保健（乳幼児期・学童期）			
教育成果	胎児・新生児の病態生理、呼吸循環適応と異常、呼吸循環疾患と管理について体系的な知識を修得する。				母体と胎児の病態生理について体系的な知識を修得する。症例を参考にしながら、産科手術について専門的な知識を修得する。症例を参考にしながら、胎児診断について専門的な知識を修得する。				症例を参考にしながら、ハイリスク児の病態と管理、発育とその評価について体系的な知識を修得する。症例を参考にしながら、ハイリスク児の母子保健について体系的な知識を修得する。				症例を参考にしながら、小児の発育とその評価について体系的な知識を修得する。症例を参考にしながら、周産期・新生児期、乳幼児期・学童期の母子保健について体系的な知識を修得する。			
SBO	分野の達成目標 (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14)				分野の達成目標 (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14)				分野の達成目標 (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14)				分野の達成目標 (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MM12161050				MM12161060				MM12169010				MM12169020			
科目	周産期・成長発達科学Ⅱ－２				周産期・成長発達科学Ⅱ－３				特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ			
科目責任者	小山理恵				小山理恵				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	小山理恵				小山理恵				各指導教員				各指導教員			
会場	産婦人科研究室				産婦人科研究室				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2
	回数	後期30コマ	配当年次	2	回数	前期15コマ	配当年次	2	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2
主な授業内容	ハイリスク妊娠の管理				ハイリスク妊娠・分娩症例へのカウンセリング				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画書の作成 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備			
教育成果	症例を参考にしながら、ハイリスク妊娠の管理について専門的な知識を修得する。				症例を参考にしながら、ハイリスク妊娠・分娩のカウンセリングについて専門的な知識を修得する。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 ＜論文作成＞ 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。			
SBO	分野の達成目標 (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14)				分野の達成目標 (1) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14)				分野の達成目標 (2) (3) (5)				分野の達成目標 (2) (3) (5)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。								「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。			
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●時間割

周産期・成長発達科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30		周産期・成長発達科学 I - 1	周産期・成長発達科学 II - 3	周産期・成長発達科学 II - 1		
6 限	19:40~21:10			特別研究 I・II			
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30		周産期・成長発達科学 I - 2	周産期・成長発達科学 I - 3	周産期・成長発達科学 II - 2		
6 限	19:40~21:10			特別研究 I・II			

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						